

## 平成23年1月 マンスリー レポート

集計企業数 **60** 社

### ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	46,502,324 万円	100.0%	102.6% (101.7%)	44,518,425 万円	99.3% (98.7%)
食 料 品	37,734,173 万円	81.1% (81.2%)	103.1% (102.6%)	35,993,674 万円	99.4% (99.0%)
農 産	5,483,142 万円	11.8% (11.2%)	104.6% (108.7%)	5,227,444 万円	101.0% (105.0%)
水 産	4,088,076 万円	8.8% (9.2%)	100.7% (99.1%)	3,897,752 万円	96.9% (95.7%)
畜 産	4,594,338 万円	9.9% (9.7%)	103.6% (101.8%)	4,352,918 万円	99.8% (98.4%)
惣 菜	3,939,314 万円	8.4% (8.3%)	103.4% (103.7%)	3,746,962 万円	99.5% (99.9%)
日配食品	8,233,155 万円	17.7% (17.5%)	103.2% (102.1%)	7,914,849 万円	99.5% (98.4%)
加工食品	11,396,148 万円	24.5% (25.3%)	103.0% (101.7%)	10,853,749 万円	99.4% (98.1%)
生活関連	3,567,762 万円	7.7% (8.0%)	101.9% (100.7%)	3,434,434 万円	99.3% (98.4%)
衣 料 品	2,118,332 万円	4.6% (4.1%)	99.0% (91.8%)	2,071,498 万円	98.2% (91.6%)
そ の 他	3,082,057 万円	6.6% (6.7%)	99.4% (99.2%)	3,018,819 万円	99.0% (99.6%)

### ② 数 値

全店総売上高	46,502,324 万円	店 舗 数	4,073 店舗
総売場面積	7,761,447.0 m <sup>2</sup>	総従業員数	225,807 人

店舗平均月商	11,417.2 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,906 円 (101.8%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.0 万円 (7.0 万円)	平均店舗面積	1,905.6 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	19.8 万円 (23.0 万円)	パート比率(前月)	77.3% (76.9%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 昨年よりも冷え込みが厳しく降雨量も少ない乾燥した月であったことから、野菜の相場や鮮魚の漁獲量に影響した
- ・ 例年になく冷え込んだことで、鍋物商材を中心に各部門とも動向が良かった
- ・ 宮崎県で鳥インフルエンザの発生が確認されたが、1月時点で鶏肉の売上に影響は見られなかった。行政から「人体に影響ない」ことが広く周知されたことが要因と思われる

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・ 気温が低く降水量も全国的に少なかったことから相場高に推移し、土物、根菜類の玉ねぎ、ジャガイモ、人参、ごぼうが好調だった
- ・ 天候の不順もあり相場高の影響でサラダ類は低迷したが、相変わらずカット野菜は好調だった
- ・ 果物は、みかん、リンゴが好調、長らく低迷したバナナも前年を上回った

### ○ 水産

- ・ 天然ブリの豊漁が、テレビなどで度々放映された効果もあり、ブリしゃぶ、お造り、切身などで拡販出来た。養殖ぶりはその分前年を割った
- ・ 生タラ等の鍋物材料は、気温の低下に伴い好調に推移したが、生カキは、ノロウィルスの影響で不振だった

### ○ 畜産

- ・ 牛肉、豚肉のしゃぶしゃぶ用肉は好調だったが、ステーキ、すき焼き用は低迷した
- ・ 冷え込んだこともあり鍋物材料のつみれ、団子、ぶつ切り肉は好調だった。一人前の個食鍋も伸長した

### ○ 惣菜

- ・ 正月以降もフライドチキンの売上は好調。天ぷら、フライのバラ売りが低迷した
- ・ 水産の生カキはノロウィルスの影響で低迷したが、カキフライは好調だった
- ・ 米飯類は好調に推移した。中でも低価格弁当は相変わらず売上を伸ばした

○ 日配・加工食品

- ・野菜高騰の影響から漬物、冷凍野菜が好調。特にキムチが好調に推移し、エンド展開を強化したところが多かった
- ・気温低下によりおでん・煮物関連で練製品、豆腐、麺が好調に推移した
- ・鍋商材（パウチ鍋つゆ）が好調だった。特にカレー鍋・トマト鍋等の「変わり鍋」は好調だった
- ・原料価格高騰を受け、値上前の備えとしてコーヒー、砂糖などが好調だった。反面、米は相場安にもかかわらず前年割れだった

○ 正月商戦、成人の日

- ・初売りの初日は、刺身盛り合せ、オードブル、寿司等も顕著な動きを示したが翌日から普段の日と変わらなかった
- ・成人の日に合わせ、ステーキ、寿司、パーティーメニューを品揃えするが、年々家庭で祝うことが減少傾向か前年を下回った

○ 受験生応援商品

- ・キットカット、明治ウカール、ロツテトッパ、合格コアラのマーチなど展開するが前年を下回った
- ・受験シーズンに合わせて、とんかつ、豚ヒレひとくちかつ、串かつを中心に「かつ」を売り込み大幅に伸長した

○ 花粉症、インフルエンザ対策

- ・花粉症対策エンドを展開し、マスク、除菌ウェットティッシュ、キャンディーを集合陳列した。これからピークを迎える為、エンド展開を強化するところが多い
- ・インフルエンザ対策として、話題となった身体を温める効果のある生姜漬、生姜茶が好調だった

以上